

2019 受託研究

1. 国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 チーム型研究 (CREST) 脳領域/個体/集団間のインタラクション創発原理の解明と適用 (研究代表者 中部大学 津田一郎), 研究担当者 池田尊司 (6月まで菊知充)
MEGによる個体内および個体間脳機能解析 (継続)
2. 文部科学省 COI STREAM サテライト, 研究リーダー 菊知充
脳の個性を活かした子どもの健やかな心の育成 (継続)
3. 国立研究開発法人科学技術振興機構 COI プログラム【若手連携研究】, 平成31年度, 課題代表者 吉村優子
連携研究テーマ「低出生体重児の客観的理解を目指した生理学的指標の解明と睡眠介入プログラムの開発に向けた基盤研究」, 課題名称「低出生体重児の発達についての生理学的・行動学的理解の促進」 (継続)
4. 国立研究開発法人科学技術振興機構 COI プログラム【若手デジタル連携研究】, 平成31年度, 課題代表者 長谷川千秋
デジタル連携研究テーマ「幼児用脳磁図を用いた、幼児の言語発達に関わる神経ネットワーク解明のための日豪国際共同調査」, 研究課題「深層学習を用いた幼児の言語理解能力発達の予測」 (新規)
5. 国立研究開発法人科学技術振興機構 COI プログラム【若手デジタル連携研究】, 平成31年度, 課題代表者 田中早苗
デジタル連携研究テーマ「発達障がい児におけるコミュニケーション能力を活かした芸術活動の療育としての効果実証と効果実証方法の確立」, 研究課題「自閉スペクトラム症児童と親子同時計測によるアート活動の自己肯定感に及ぼす影響の検討と生理学的指標によるフィードバックシステムの構築」 (新規)
6. 国立研究開発法人科学技術振興機構 COI プログラム【若手デジタル連携研究】, 平成31年度, 課題代表者 辻知陽
デジタル連携研究テーマ「発達障がい児におけるコミュニケーション能力を活かした芸術活動の療育としての効果実証と効果実証方法の確立」, 研究課題「自閉スペクトラム症児童へのアートワークショップの心理学的・内分泌学的効果の検証」 (新規)

7. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED） 障害者対策総合研究開発事業（感覚器障害分野） 発達性吃音の小児期疫学調査と回復要因の研究（研究開発代表者 国立障害者リハビリテーションセンター 森浩一），研究開発担当者 小林宏明
研究課題「幼児吃音コホート調査」，「吃音児の回復要因の調査」，「学齢期の評価・治療法開発」（新規）

2019 受託事業

1. 文部科学省 いじめ対策等生徒指導推進事業（調査研究）（研究開発代表者 大阪大学 片山泰一）横山茂
児童生徒の情動行動に関する基礎的研究と教育実践に関する研究（継続）
2. 文部科学省 共通政策課題事業（事業代表者 大阪大学 谷池雅子）横山茂
子どものこころの研究センターから展開する国際研究拠点と社会実装（新規）

2019 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費

代表

1. 基盤研究 (C)，辻知陽
社会性ホルモンバソプレシンの嗅覚系神経回路の解明（継続）
2. 若手研究，長谷川千秋
自閉スペクトラム症児における対話活動中の脳内ダイナミズム：母親と他者との比較研究（継続）
3. 特別研究員奨励費，長谷川千秋
自閉症幼児の母子インタラクション中の神経ネットワーク解析による診断指標の確立（継続）
4. 基盤研究 (C)，朱紅
ライソゾーム機能不全が自閉スペクトラム症発症に与える影響と薬物コントロール（継続）

5. 基盤研究 (C), 吉村優子
自閉スペクトラム症児における音韻処理の神経基盤と学齢期の読み書き能力の関連
(新規)
6. 新学術領域研究 (研究領域提案型), 吉村優子
自閉スペクトラム症幼児におけるコミュニケーション態度を伝達する音声処理の脳内
基盤 (継続)
7. 基盤研究 (C), 小林宏明
吃音のある児童の指導・支援の課題等データベースの構築 (継続)
8. 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B)), 堀修
RAGE シグナルを標的とした脳血管障害創薬の為に国際共同研究 (継続)
9. 基盤研究 (C), 堀修
多発性硬化症モデルマウスにおける小胞体ストレス応答因子 ATF6beta の重要性 (継続)
10. 基盤研究 (C), 小野靖樹
ウェアラブルセンサーを用いた思春期うつ状態の早期発見 (継続)
11. 基盤研究 (B), 菊知充
自閉スペクトラム症幼児の症状多様性に対応する生物学的指標の検討 (継続)
12. 基盤研究 (B), 小島治幸
感性機能側性化と視覚系機能分化との関連 (継続)
13. 基盤研究 (B), 三邊義雄
統合失調症における免疫炎症過程亢進と大脳皮質ニューロンの変化 (継続)
14. 基盤研究 (B), 大井学
自閉症のコミュニケーション障害に対する自閉的共感の多角的検討 (新規)
15. 基盤研究 (C), 齋藤大輔
社会的相互作用や生活環境が、子どもの認知機能や社会能力に与える影響 (新規)
16. 基盤研究 (C), 池田尊司

脳磁図を用いた自閉スペクトラム症児の視覚特徴検出（新規）

17. 基盤研究 (B), 橋本隆紀
統合失調症の抑制性介在ニューロン変化への μ 型オピオイド受容体の関与（新規）
18. 基盤研究 (C), 荒木友希子
保育者のワーク・エンゲイジメントを支援するポジティブ認知行動療法プログラムの開発（新規）
19. 若手研究, 矢追健
自閉症児における社会的促進・抑制の認知神経基盤—小児用 MEG による検討—（新規）
20. 奨励研究, 桑名亜紀
発達障害者と共に働く同僚が感じる負担調査および支援策の検討（新規）
21. 奨励研究, 由比光子
マウスの生育過程・妊娠・出産期のオキシトシンに結合する担体 C 4 a の生理的役割の検証（新規）

分担

1. 基盤研究 (B) (代表 菊知充), 横山茂, 齋藤大輔, 池田尊司, 吉村優子
自閉スペクトラム症幼児の症状多様性に対応する生物学的指標の検討
2. 基盤研究 (C) (代表 大阪教育大学 石橋正浩), 齋藤大輔
自己制御課題としてのロールシャッハ法の神経基盤の探求
3. 挑戦的研究 (萌芽) (代表 附属病院 金田礼三), 橋本隆紀
統合失調症の急性期におけるオープンダイアログを用いた介入について
4. 基盤研究 (B) (代表 三邊義雄), 橋本隆紀, 廣澤徹
統合失調症における免疫炎症過程亢進と大脳皮質ニューロンの変化
5. 基盤研究 (C) (代表 附属病院 小野靖樹), 廣澤徹
ウェアラブルセンサーを用いた思春期うつ状態の早期発見

6. 基盤研究 (C) (代表 人間社会研究域学校教育系 吉村優子), 田中早苗
自閉スペクトラム症児における音韻処理の神経基盤と学齢期の読み書き能力の関連
7. 基盤研究 (B) (代表 大井学), 田中早苗
自閉症のコミュニケーション障害に対する自閉的共感の多角的検討
8. 基盤研究 (C) (代表 福井大学 辻隆宏), 辻知陽
網膜神経節細胞バソプレシン神経の概日リズムと精神機能への生理的役割の解析
9. 基盤研究 (C) (代表 学際科学実験センター 柴和弘), 横山茂
シグマ受容体イメージングによるストレス性疾患の客観的早期診断法の開発
10. 基盤研究 (B) (代表 広島大学 川合紀宗), 小林宏明
吃音の高校生に対する効果的な通級による指導及び担当教員の養成システムの開発的研究

2019 その他

1. 共同研究 (株式会社スカイシーファーマ), 横山茂
抗オキシトシン抗体の評価 (新規)
2. 共同研究 (株式会社リコー), 三邊義雄
脳の個性を生かした子どもの健やかなこころの育成: 特異から得意へのパラダイムシフト (継続)
3. 共同研究 (東海物産), 辻知陽
自閉症モデルマウスに対するアンセリン・カルノシン投与試験 (新規)
4. 先魁プロジェクト 2018, (代表 医薬保健研究域 河崎洋志), 堀修
高等哺乳動物を用いた脳恒常性維持機構の統合的研究拠点の形成 (継続)
5. 先魁プロジェクト 2018, (代表 医薬保健研究域 山本靖彦), 堀修, 辻知陽
グリケーションを基軸とした老化研究の世界拠点の形成 (継続)

6. 平成 31 年度金沢大学共同研究支援制度, (代表 富山県立大学 清家美帆), 辻知陽
実大トンネル避難実験でのオキシトシン濃度計測によるストレス評価 (継続)
7. 第 11 回北陸銀行若手研究者助成金, 矢迫健
幼児における自己顔認知の認知神経基盤—小児用 MEG による検討—
8. 金沢大学平成 30 年度法人主導 (トップダウン) 型研究課題, (代表 国際基幹教育院
松井三枝), 齋藤大輔
生涯学の挑戦—超高齢社会の中で最適に生きるために— (継続)
9. 平成 31 年度北陸地区国立大学学術研究連携支援, (代表 福井大学 辻隆宏), 辻知陽
新規バソプレシン受容体特異的拮抗剤による眼圧下降効果の検討 (新規)
10. 平成 31 年度金沢大学前期研究パートナー制度による支援, 辻知陽 (新規)
11. 令和元年度金沢大学後期研究パートナー制度による支援, 辻知陽 (新規)